

会 議 録

<p>会 議 名</p>	<p>令和元年度第 1 回野田市地域福祉計画審議会</p>
<p>議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別</p>	<p>1 野田市地域福祉計画【第 3 次改訂版】の策定について（諮問） （公開） 2 地域福祉に関する市民意識調査の結果及び総括について（公開） 3 地域福祉計画に関する福祉関係団体意向調査の結果及び総括について（公開） 4 野田市地域福祉計画【第 3 次改訂版】策定の考え方について （公開） 報告 野田市地域福祉計画【第 2 次改訂版】事業の取組状況について（公開）</p>
<p>日 時</p>	<p>令和元年 7 月 2 4 日（水）午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 4 6 分まで</p>
<p>場 所</p>	<p>市役所高層棟 8 階大会議室</p>
<p>出席者</p>	<p>委 員 石井 芳子 石神 勢津子 江原 正子 岡安 誠人 小俣 文宣 幡野 喜志子 松村 由貴 三澤 朋宏 岡田 さおり 瀬能 千恵子 谷田貝 多吉 山中 邦枝 渡辺 隆 荒木 なおみ 鷲尾 勲</p> <p>事務局 市長 鈴木 有 保健福祉部長 直井 誠 保健福祉部次長（兼）生活支援課長 富山 芳則 障がい者支援課長 小林 智彦 高齢者支援課長 大月 聡 介護保険課長 安藤 剛行 保健センター長 中代 英夫 子ども支援室長 池田 亜由美 児童家庭課長 小林 利行 保育課長 鈴木 和則 社会福祉協議会事務局長 田中 洋介 自然経済推進部次長（兼）商工観光課長 宇田川 克巳 生涯学習課長 川野 尚武 指導課長 山田 桂一 総務部次長（兼）人事課長 富山 勝之</p>

	行政管理課長 渡邊 宏治 営繕課長 松本 正明 市民生活部次長（兼）市民生活課長 大塚 盛也 防災安全課長 森下 元博 広報広聴課長 荒井 幸則 生活支援課長補佐 染谷 尚之 生活支援課社会係長 工藤 隆利 生活支援課主事補 鶴ヶ谷 礼美
欠 席 委 員	須賀田 貞彦 金本 秀之 小林 恵一 永田 和子 堀越 秀樹 山本 由紀子
傍 聴 者	2名
非 公 開 の 事 由	無し

事務局	（開会） < 令和元年度第1回野田市地域福祉計画審議会を開催する。本日の出席状況の報告、会議の成立宣言、当会議が原則公開であることの説明、傍聴者が2名いることの報告、配布資料の確認 > < 審議会の開催に先立ち、市長に挨拶をお願いする。 >
市長	市長挨拶 皆さんこんにちは、本日は、大変お忙しい中、また、暑い中、当審議会に御参加いただきありがとうございます。日頃から皆様におかれましては、市政運営全般につきまして、御支援と御協力、深い御理解をいただいていることに重ねて御礼申し上げます。野田市地域福祉計画につきましては、シルバープラン、障がい者基本計画、エンゼルプランの上位計画として本市の保健福祉全体の方針を定めているものでございます。 現計画、「第2次改訂版」につきましては、本年で計画期間を満了いたします。本日は「第3次改訂版」につきまして、皆様方に諮問をさせていただきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。
事務局	< 委員の交代があった団体があるため、全員に自己紹介を依頼 >
各委員	< 自己紹介 >

事務局	< 欠席委員及び辞職委員の報告、会長に議長を依頼 >
議長（会長）	< 傍聴者について、2名の希望があることを報告、傍聴を許可する。 >  それでは議事に入ります。 まず、諮問の関係を議題といたします。本日は野田市地域福祉計画の第3次改訂版の策定について諮問を受けることとなっていますので、ただ今から、お受けしたいと思います。
市長	< 諮問書の読み上げ、会長に手渡し >
議長（会長）	< 諮問書を受けたことを報告 >
事務局	< 諮問書の写しの配布 >
議長（会長）	< 諮問の要旨について説明を求める。 >
保健福祉部次長 兼生活支援課長	< 諮問の要旨について説明 >
議長（会長）	野田市地域福祉計画は、保健福祉全体の方針を定めた重要な計画でございますので、答申までの間、委員の皆様には、よろしく御審議をお願いしたいと思います。  これから、審議に移りますが、市長は、公務の関係で、ここで退席となります。
市長	市長退席
議長（会長）	続きまして、「議題2 地域福祉に関する市民意識調査の結果及び総括について」を議題とします。  事務局から説明をお願いします。

<p>保健福祉部次長 兼生活支援課長</p>	<p>市民意識調査の実施につきましては、昨年12月に開催されました本審議会においてお諮りいたしました。本日はその結果と総括について御説明させていただきます。</p> <p>&lt;資料 「参考」2ページ 調査目的、対象者、人数、実施時期の説明&gt;</p> <p>&lt;議題2 地域福祉に関する市民意識調査の結果及び総括について説明&gt;</p> <p>地域との関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『隣近所とのつきあい方』</li> <li>『困っている方に手助けしたいこと/困ったときに手助けしてほしいこと』</li> <li>『地域生活での課題に対する住民相互の協力関係』</li> </ul> <p>地域での活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『地域福祉に関するボランティアやNPOの活動、地域活動への参加』</li> <li>『ボランティアやNPOの活動、地域活動に期待すること』</li> <li>『市民が担うべき福祉活動』</li> </ul> <p>日常の暮らしの課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『地域で解決すべき課題』</li> <li>『分類別（高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援）での課題』</li> </ul> <p>自殺に関する考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『自殺に関する考え方』</li> <li>『自殺対策、予防等』</li> </ul>
<p>議長（会長）</p>	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、何か御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。</p> <p>御質問がないようですので、議題2の市民意識調査の総括等については、事務局の案のとおりとします。</p> <p>次に、「議題3 地域福祉に関する福祉関係団体意向調査の結果及び総</p>

	<p>括について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>保健福祉部次長 兼生活支援課長</p>	<p>&lt;福祉関係団体への意向調査について、改訂版の計画の基礎資料とするため、福祉関係の15団体を対象に実施した旨の説明の後、以下の項目について、説明を行った。&gt;</p> <p>保健福祉推進のための「きっかけづくり」  保健福祉推進のための「人づくり」  保健福祉推進のための「ネットワークづくり」  総合的・横断的なサービスの充実  効果的・効率的なニーズの把握と情報提供体制の整備  福祉サービス利用者の相談体制の充実  生活困窮者の支援  バリアフリー社会の確立  地域活動の活性化を通じた地域の活性化</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、何か御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。</p>
<p>小俣委員</p>	<p>最後の、地域活動の活性化を通じた地域の活性化について、民間企業と連携したライフラインの整備や医療、教育、商業の各施設の充実とあるが、具体的に、どのようなものを想定しているか。</p>
<p>保健福祉部次長 兼生活支援課長</p>	<p>事務局としての想定は、国の方でも話に出ている地域共生社会の実現で、これは、公共機関に限らず民間の資源等も有効に活用して、それぞれの立場で充実した福祉を展開していこうというもので、事務局としては、民間資金の活用と捉えております。</p>
<p>岡安委員</p>	<p>地域福祉計画の趣旨と少しずれるかもしれないが、報告書の中でも、横断的という言葉が出ていて思ったのだが、中高年の方々を狙った特殊犯罪、おれおれ詐欺等があり、日頃、その人のことを気に掛けていれば防げ</p>

	<p>るものがあると思う。そのようなことも地域福祉であると思われる。可能ならば文言とし、犯罪に巻き込まれないようなことも考えても良いのではないか。</p>
<p>保健福祉部次長 兼生活支援課長</p>	<p>地域の、御近所の方とのコミュニケーションを推し進めていくことが、特殊詐欺にも有効と思われる。コミュニケーションの円滑化が図れれば犯罪の抑止、防止に関しても効果があるので、計画の中で検討させていただきます。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>ほかに何かございますか。</p>
<p>石神委員</p>	<p>「あいさつ声かけ運動」について、市の職員が、誰に対しても挨拶できる体制となっているのか。窓口での対応が市によって様々で、対応もまちまちなので、対応する市役所職員が中心となって、誰にでも気軽に、先に声を掛けることが大切だと思う。</p> <p>大人が見本を示すことで、子供たちも、挨拶や返事ができるようになると思う。今、私たちはジュニアリーダーという子供たちを育成しているが、子供たちと話をしている中で返事がない。分かったかどうか、聞いていたかどうか分からないような状態が現状。</p> <p>大人が挨拶できなければ、子供たちもできない。大人が見本となる野田市を創っていただければと思う。</p> <p>見守り、声掛けの生活というのが、声掛けの生活をするためには市の単位でなくて、自治会単位、お隣の声掛けが、日々の変化を見逃さないという点で重要。定年退職したばかりの元気な高齢者の方の活用も重要だと思う。</p> <p>高齢者の安否確認について、市ではどのように進めているのか確認したい。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>高齢者の方の安否確認については、市の事業として、配食サービスを行っている。一人暮らしとか、高齢者夫婦で、食事を作るのが難しい世帯に、民間とは違い毎回手渡しでお弁当を届けることで、安否確認をしてい</p>

石神委員	<p>る。そのほか、独居高齢者世帯の確認については、民生委員さんをお願いし、見守りしていただき、独居の台帳で緊急連絡先などを取れる方には情報の提供をお願いしている。</p> <p>それで、全世帯の把握はできているのか。何かあったときは民生委員がどのくらいの頻度で訪問しているのか、例えば、担当のケアマネージャーがいれば、その方と連携をとっているのか、その辺を教えてほしい。</p>
高齢者支援課長	<p>数値的に何パーセントという把握はしていないが、介護保険を使っている方については、包括支援センターや、ケアマネージャーと連携し、何かあった場合、安否確認することを心掛けている。介護保険を使っておらず、ケアマネージャーさんと関わりのない方の場合、民生委員をお願いしている。</p>
議長（会長）	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>ほかに何かございますか。</p>
岡安委員	<p>議題 - 3（地域福祉に関する福祉関係団体意向調査の結果及び総括）の別紙、A 3 版の 2 段目の初めに、1 番「介護は職員不足」、同じ段の 5 番には「野田は施設が乱立し介護職員が不足している」。そして、1 5 番で「人材不足、役員のなり手不足、自治会・老人会・民生委員児童委員協議会、その他地域福祉団体等の消滅が予想され」、1 6 番「福祉等のボランティア活動の参加者確保がだんだんと難しくなっている」という意見が出ている。</p> <p>行政当局として、この 1 番、5 番、1 5 番辺りのことをどの程度把握しているのか教えてほしい。</p>
高齢者支援課長	<p>介護職員の関係で御説明すると、野田に限らず、全国的な介護職員の不足という課題がある。市内で申し上げますと、事業所の数としては、特別養護老人ホームが 1 4、それ以外のケアマネージャーや、ホームヘルパーの事業所等を合わせると 2 0 0 近い事業所がある。その中で、ホームヘルパ</p>

	<p>ーとか、施設に勤める介護職員の数は、足りていないことは、様々な会合で事業所の方と話をすると感じる。施設については、定期的に施設長に介護人材が足りているかどうか、アンケートを取ると、足りている所もあるが、入所施設だと夜勤もあるので、足りていないところも多くある。市としても、介護職員の不足解消のため、合同就職説明会という形で、事業所と力を合わせるなど、様々な支援を行っている。</p>
岡安委員	<p>例えば、特養施設で100名の定員があり、職員不足で稼働率が7割とといったようなことは、野田市ではあるか。</p>
高齢者支援課長	<p>昔からの施設ではそれなりの職員が集まっており、ベッド数に合わせ配置をしている。新しい施設で、満床までには職員不足でユニットケアを開けられない施設が一つある。</p>
議長（会長）	<p>ほかに何かありますか。</p> <p>ないようでしたら、議題3の地域福祉計画に関する福祉関係団体意向調査の結果及び総括については事務局の案のとおりとしたいと思います。よろしいですか。</p> <p>異議無しの声</p> <p>次に、議題4 野田市地域福祉計画【第3次改訂版】策定の考え方についてを議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。</p>
保健福祉部次長 兼生活支援課長	<p>&lt;「第3次改訂版の策定の考え方について」説明&gt;</p> <p>野田市地域福祉計画の策定の経緯の確認</p> <p>野田市地域福祉計画の位置付けの説明</p> <p>期間が満了に伴う【第3次改訂版】の策定について</p> <p>【計画策定の考え方】</p> <p>・地域福祉計画は、社会福祉法の規定により策定しているもので、法10</p>



	<p>7条に住民等の意見を反映させるために必要な措置を講じるものと規定されていることから、市民意識調査及び福祉関係団体等への意向調査を踏まえ策定を行うことを説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月1日に改正社会福祉法が施行され、これまでの市町村地域福祉計画に盛り込むべきとされていた事項に加えて、新たに盛り込むべき事項とされた「包括的な支援体制の整備に係る事業に関する事項」への対応について取り組んでいく旨の説明</li> <li>・平成28年4月1日に改正自殺対策基本法が施行されたことに伴い、市町村において自殺対策計画を定めることとされたことから、当該計画を地域福祉計画に盛り込む旨の説明</li> </ul>
議長（会長）	<p>事務局から説明がございましたが、御意見、御質問がありましたらお願いいたします。</p>
岡安委員	<p>「包括的な支援体制の整備に係る事業に関する事項」へ対応するということだが、分かりやすい説明をお願いしたい。</p>
保健福祉部次長 兼生活支援課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共生社会の実現に向けた地域づくりの取組の一つが包括的な支援体制の整備として位置付けることができると考えている。</li> <li>・地域共生社会の出発点としては平成28年6月2日に閣議決定された、「日本一億総活躍プラン」に地域共生社会の実現が織り込まれ、これは、介護離職ゼロに向けた取組の一つにもなっている。</li> <li>・地域共生社会の定義として、制度、分野ごとの縦割りであるとか、支え手、受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が、我がこととして参画をして、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながるといふことで、住民一人一人の生きがい等を地域とともに創っていくと定義付けされている旨の説明</li> <li>・様々な課題を抱えて、受け手となっている方が、課題の解決を図ることで、自らが支援する「支え手」にもなれるような入口として、複合的や分野横断的な地域生活課題について、総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整を行う体制の整備が具体的な事業として想定されている旨の説明</li> </ul>

<p>小俣委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、国、厚生労働省において、有識者会議を立ち上げ、検討を重ねている段階で、今月16日に一括して相談に応じる体制の整備が重要との中間報告がまとめられた旨の説明</li> <li>・ 計画書にどこまで盛り込めるかは、今後検討する旨の説明</li> </ul> <p>配布資料に散見される、「人材不足」ですが、まとめ役をやるのを面倒と考えて、やらない方が増えている。地元のマンションでも、ほとんどが高齢者世帯で、自治会として、その方々に関わりたいと思っけていても、班長をやることを敬遠して当人たちが自治会を抜けてしまう。100世帯入っている内の80パーセントくらいが自治会から抜けてしまうような状況になっている。このような問題をどのように解決していくかを市としても考えていただきたい。</p> <p>また、「今後とも、国、県等の動向を注視するなど、引き続き情報収集を行います」という言い回しは、「何もやらないと言うのと同じ」なので、是非やめてほしい。</p>
<p>市民生活部次長 兼市民生活課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会において、役員のなり手がいない、自治会から抜けてしまうという課題があると御意見を頂いている。</li> </ul> <p>正に今、市全体として、自治会関係について、対策を進めているところで、最近、自治会アンケートというものを自治会長さんにとらせていただき、現状として、加入率が低下して、市報等の配布で負担があるのではないかとの話を伺っている。</p> <p>市では、現在、市からの依頼業務の負担軽減を図るとか、自治会の補助事業について、自治会の事務事業の見直しを進めている。</p> <p>アンケート調査は、ホームページにも掲載しているが、1月15日から2月15日に自治会400団体にアンケートを実施し、348団体から回答を頂き、回答率は87パーセントだった。</p> <p>アンケート結果について、各担当課で検証を行い、市として考え方を取りまとめた上で、自治会と話し合いを進めていきたいと考えている。自治会連合会と話し合いを行い、市報の配布とか、加入率のことや、テーマを決めて話をし、その後、個別の自治会、自治会員の意見を直接聞けるような形</p>

<p>石神委員</p>	<p>で、市と自治会の協働の在り方について検討していく。</p> <p>自治会の話がでましたが、子ども会でも同じ状況で、市の子ども会、自治会にある子ども会が今、ほとんどないということで、子ども会を脱退、育成会を脱退する所が多く、「こどもまつり」などにも支障が出ている。</p> <p>子供がいても、子ども会が作れない。そして子ども会が作れない自治会がだんだん消滅しつつあるので何とかしなければいけない。子供が子供の時期に体験しなければいけないことをその時期にやっておかなければ、いじめや、親からの虐待も見過ごされてしまうのではないかと思う。子供が子ども会に入ること、暗い顔をしている、何か傷があるなど分かってくるので、いつも来ている子が来ていない。どうしたのだろうか、皆で知恵を絞っていけたらと思う。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>これは、御意見ということでよろしいですね。</p> <p>各団体、いきいきクラブもそうですが、役員の成り手がいないですね。ほかにありますか。</p> <p>ないようですので、議題4 野田市地域福祉計画【第3次改訂版】策定の考え方については、事務局の案のとおりとしたいと思います。</p> <p>次に報告事項といたしまして、野田市地域福祉計画【第2次改訂版】事業の取組状況について議題といたします。事務局の説明をお願いします。</p>
<p>保健福祉部次長 兼生活支援課長</p>	<p>&lt;報告事項として現計画【第2次改訂版】の事業取組状況について説明&gt;</p> <p>・昨年7月の審議会において報告をさせていただいているため、継続して実施している事業は除き、30年度に動きのあった以下の事業について説明</p> <p>『あいさつ、声かけ運動の推進』</p> <p>『地域自治組織の検討』</p> <p>『誰もが必要な福祉情報を容易に入手できる情報提供、体制充実・強化』</p> <p>『学習支援事業』</p>

議長（会長）	<p>ただ今の説明に対し、何か質問がありましたらお願いいたします。</p>
小俣委員	<p>サンスマイルや、釣大会を実施しているが、障がい者の人たちとの交流というものが難しい。サンスマイルでは、自分たちが演じる番が終わると帰ってしまい、障がい者との触れ合いができていくという状態であるため、行政の方にもお知恵をいただければと思う。</p>
障がい者支援課長	<p>サンスマイルは私も観させていただいた。障がいを持つ子も、あるいは、ない子供たちも、非常に活発にステージで演じて、素晴らしいなと思った。ただ、自分の演じる番が終わると帰ってしまうのを私も見た。</p> <p>障がい者釣大会、子ども釣大会についても、実際の触れ合いというのは、釣っている所ではなくて、小さい池の所での触れ合いくらいしかないと感じた。</p> <p>釣大会となると、水辺でするので、障がい者でも車椅子でできるように、別の場所というように区切りを作ってしまう。垣根を作ってしまう部分もあるので、このことも踏まえて、今後は交流ができるような形で考えていきたい。また、触れ合うだけではなく、それぞれが、障がいの特性や、持っている子、持っていない子の全てを理解して、これからの行政を進めていくことが大事だと思う。その考え方を踏まえて進めていきたいと思う。</p>
岡安委員	<p>報告を一つ。この地域福祉計画の中でシルバーサロンを進めていただいている。我々の地区の郵便局前に「シルバーサロン元気」があって、そこには土日に商連も商連スクエアというのを併設させていただいている。シルバーサロンを運営しているNPの方とお話をさせてもらうが、最初の頃は認知度が低く、利用者も少なかったが、今はにぎわいが出てきて、自転車があふれんばかりにあり、車を置く場所も隣に土地が空いたので、NPの方が地主さんに掛け合って、車で来る人のために借りて管理し、非常に活発にやっている。</p> <p>我々商店街としても、シルバーサロンに人を集めていただくと、非常にうれしい。近所のお店でお弁当買ってきて食べているとのことなので、ま</p>

<p>鷺尾委員</p>	<p>すます繁栄することを祈り、また、いい事業をやっていただいたなど行政に感謝している。</p> <p>二つ教えてください。一つ目は、児童虐待に関することです。</p> <p>4ページ目、14項番の「子どもの健全育成に係る施策の総合的推進」があるが、30年度に動きのあった項目でないと承知しているが、この項番に少しでも関係あることがあれば、野田市の取り組みを少し教えてほしい。</p> <p>もう一つは、5ページ目、項番18「苦情解決処理システムの利用の促進」、私は今、ボランティアで裁判所の調停委員に携わっている。それぞれの生活の中でトラブルが発生する。これを見て内容は分からないが、仮に近隣での民事上のトラブルであれば、裁判所の調停制度を使い解決することができる。苦情解決システムというのを設置して推進されているとのことなので、私どものやっている調停制度とのかかわりや接点が仮にあるならば、応援したいと思うし、皆さん方の連携の中で、少しでも苦情解決の役に立てばと思う。この18番項目の中で、連携できる部分があるか否か、教えていただきたい。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>2点ほどありましたが、児童虐待については、エンゼルプランの中であっているのですか。</p>
<p>児童家庭課長</p>	<p>野田市で今回起きました事件につきましては、市民の皆様にも御心配、御迷惑をお掛けしましたことに対し、この場をお借りして、改めておわび申し上げます。この児童虐待に対しては、児童虐待事件再発防止対策合同委員会というものを立ち上げ、この中で事件の検証と再発防止について取り組んでいる。現在、実際できることから始めるということで、いろいろな取組をさせていただいている。</p> <p>具体的なことを申し上げますと、今回の事件の大きな問題は柏児童相談所を始めとする関係機関との連携がうまくできていなかった。</p> <p>情報の共有ということでシステムを整備し、柏児童相談所の方も含め同じ情報を同時に共有できるような対応を進めている。また、実務者会議</p>

	<p>という会議で、各機関が連携し、要対協の中で、市を含め、児童相談所、警察、保健センター等、それぞれ、お子さんを扱う団体の実務者が集まり会議をしています。会議の実施方法の見直しも行うことになっている。</p> <p>今回、学校の問題で、お子さんたちの心のケアもあったので、スクールカウンセラーを入れ、また、先生等の負担もあるので、スクールロイヤーという形で対応して、負担を少し軽くしながら、子供たちの悩みを聞いていく対応をとりながら、また更に、今回、虐待に対して市民の方から通報がなかったということで、民生委員児童委員や各種団体、自治会等と市の方で意見交換会を行っている。</p> <p>これからの対応として、市の体制強化として現在、児童家庭課の児童相談係が対応しているのですが、そこを課に格上げして対応の強化を図っていく。また、児童虐待のマニュアルの見直しをするなど、できることから取り組んでいる。</p>
保健センター長	<p>子供の健全育成ということで、今の虐待の話にも通じるが、各担当課で役割を持って対応している。</p> <p>虐待の中でも、保健センター、子ども支援室については、虐待の対応というよりは、虐待防止ということで、健診、予防接種を受けさせていない親だとか、歯科の健診で虫歯が多く、味噌っ歯で親が歯医者に連れて行かないなどの観点から、家庭の状況などを把握し、その家庭が実際どうなっているかを感じ取り支援に当たっている。今後、健診のときに保健センター、子ども支援室については、そういったいろいろな状況を把握する立場にあるので情報共有し、その中で、虐待を未然に防ぐ、虐待をひどくさせないということにつなげていく活動をしている。</p>
保健福祉部次長 兼生活支援課長	<p>最後に苦情解決システムの関係ですが、調停委員、調停の接点、連携ということがありました。有り難いお言葉を頂き、感謝申し上げる次第ですが、このシステムに対する申出の実績がない状況のため、何かあった際には、御協力を仰ぐこともあるかと思えます。その際にはよろしく願います。</p>

<p>鷲尾委員</p>	<p>分かりましたありがとうございます。</p> <p>補足すると、私どもは東葛地区6市に対して、10月から、年1回、各市向け、無料調停相談会を開いている。無料で調停委員を10人くらい動員し、会場を借りて、そこでブースを作って行い、そこにお困りの方々がお見えになる。</p> <p>ここにいる野田市の広報広聴課に会場の手配とかいろいろなお世話をいただき、毎年実効が上がっている。私どもの親元の千葉の本庁では、民事調停模擬会というのをやっており、それは、その当事者の方を呼ぶのではなく、行政担当者の方のお困り相談窓口とか、いろいろな相談センターの方をお招きする。皆さん方のお仕事の中で、何かあって、その制度で救えるようなものがあったら、是非活用していただくというようなことをしている。</p> <p>今年も、また、秋にはあるかと思う。千葉の裁判所の本庁から、各行政担当者の窓口の方に声が掛かって、そこに参加すると実体験ができるようになっているので、一つ情報提供とさせていただいた。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>ほかに何かございますか。</p> <p>もしないようでしたら、事業の取組状況については報告了承といたします。</p> <p>以上で、本日の議事につきましては、全て終了いたしました。最後に事務局から何かありますか。</p>
<p>生活支援課補佐</p>	<p>長時間の御審議お疲れ様でした。</p> <p>次回の審議会は10月下旬を予定しております。</p> <p>審議の内容につきましては、パブリックコメント手続に向けまして、素案の提示をさせていただきますので、その御審議をお願いしたいと考えております。</p> <p>審議会の御案内につきましては、改めて御通知をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>なお。公募委員の鷲尾様につきましては、9月30日で任期満了となりますので、予定では本日が最後の会議となります。2年間大変お疲れ様で</p>

議長（会長）	<p>ございました。</p> <p>また、冒頭に申し上げましたとおり、欠員の公募委員 1 名の方と合わせて、公募委員 2 名の方の募集を、7月16日から開始したところでございますので御報告します。</p> <p>その他につきましては以上です。</p> <p>それでは、事務局に進行をお返しします。御協力ありがとうございました。</p>
生活支援課補佐	<p>渡辺会長、ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、令和元年度 第 1 回 野田市地域福祉計画審議会を終了させていただきます。</p> <p>皆様、本日は大変お疲れ様でした。</p> <p>（閉会）</p>